

# 平成27年度部長マニフェスト取組結果

部(局)名	地域教育部
部(局)長名	川下 貴弘

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

重点課題 1	「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」生涯学習活動に取り組める体制づくりの推進
--------	--

全体の達成度

A

達成

目指すべき方向	多様化する市民ニーズに応えるため、市内29の地区公民館、9つの図書館、博物館などが連携して、生涯学習活動の機会を提供します。
---------	--

活動目標
多様な学習機会の提供を進めます。
生涯学習活動の拠点となる地区公民館の整備を進めます。
市立図書館での貸出閲覧事業を充実させます。
情報発信機能を充実させます。
文化遺産の保存、活用を進めます。

具体的な取組実績
生涯学習吹田市民大学講座（特別講座3回・大学連携講座18回）をはじめとする生涯学習講座及び子育てに関する講座（10回）を実施しました。また、子どもたちが、夢を見つけ、目標を持って努力することの大切さを学べるよう「夢と希望を広げる出会い事業」を6回実施しました。
豊一地区公民館の大規模改修工事を完了しました。南吹田地区公民館建設に伴う実施設計及び片山地区公民館の大規模改修の設計を完了しました。
平成26年度から取り組んできた、ICタグ(物流管理用のシール)を使った図書館システムの導入準備を全館あげて行いました。千里山・佐井寺図書館と中央図書館の書庫を除きICタグの貼付を終了し、全館で新システムに対応することができました。
新図書館システム導入にあわせ、ホームページの更新に取り組ましました。既存のコンテンツの精査を行い、使いやすくなりやすいホームページの作成に取り組み、吹田ならではの特色のあるコンテンツの公開をめざしました。
旧西尾家住宅の保存活用等について、保存活用検討会議での検討をもとに保存活用計画案をまとめ、大阪府及び文化庁と協議を行いました。



達成目標
現代的課題に対応した学習機会を提供するため、生涯学習吹田市民大学特別講座や子育てに関する講座を地区公民館と共催で実施します。
老朽化した地区公民館の改修を年次的に進めます。
ICタグ(物流管理用のシール)を使った図書館システムを導入します。

達成状況	達成度
健康・医療をテーマにした生涯学習吹田市民大学特別講座を3回、また、子育てに関する講座を10回、地区公民館と共催で実施しました。	A 達成
平成26年度(2014年度)から進めていた、豊一地区公民館の大規模改修工事を完了しました。また、平成29年度(2017年度)完了を目指し、南吹田地区公民館建設に伴う実施設計を、平成28年度(2016年度)の完了を目指し、片山地区公民館の大規模改修の設計を完了しました。	A 達成
平成28年2月から、ICタグ(物流管理用のシール)を使った図書館システムを導入し、自動貸出機、返却機の運用を始めました。	A 達成

## 平成27年度部長マニフェスト取組結果

<p>図書館ホームページを一新します。</p>	→	<p>新図書館システム導入にあわせ、ホームページを更新しました。既存のHPに比べ安全性が向上し、地域資料のページや子ども向けのページなど内容も充実させました。</p>	<p><b>A</b> 達成</p>
<p>旧西尾家住宅・旧中西家住宅の保存と活用をすすめます。旧西尾家住宅の保存活用計画をまとめるために、大阪府及び文化庁と協議をしていきます。</p>	→	<p>旧西尾家住宅の保存活用等について、保存活用計画案をまとめ、大阪府及び文化庁と協議を行いました。文化庁からは様々な事項について指導をいただき、さらに詳細に協議を行いました。</p>	<p><b>A</b> 達成</p>

### 総合評価・総括

現代的課題や子育てに関する講座を、より身近に学んでいただけるよう、地域の学びの場である地区公民館と共催で実施しました。次年度につきましても、様々な現代的課題の講座を提供してまいります。地区公民館改修事業では、地区公民館中、唯一の4階建である豊一地区公民館にエレベータを設置いたしました。また、平成29年度(2017年度)完成を目指し、南吹田地区公民館建設に伴う実施設計を、平成28年度(2016年度)の完成を目指し、片山地区公民館の大規模改修工事の設計に着手するなど、年次的に地区公民館改修工事を進めます。

図書館では、平成26年度から準備を始めたICタグ(物流管理用のシール)を使った図書館システムの導入に向け、全館をあげて取組みました。ホームページの更新により、求める資料を手に取りやすくするだけでなく、さらなる情報発信を図ることにより、ライフステージや生活課題に応じた学習機会の充実を支援します。

旧西尾家住宅の保存活用につきましては、保存活用検討会議の検討をもとに保存活用計画案をまとめ、大阪府及び文化庁と協議を行いました。今後は、計画案をもとに実施予定の耐震診断調査の成果も踏まえ、保存活用について大阪府及び文化庁とさらに詳細に協議を進めます。